



世界へのプレゼントになる

国際ロータリー会長

K. R. ラビンドラン

Nagai Rotary Club



長井ロータリークラブ



## Weekly report

長井ロータリークラブ会長	渡部 堅一	第2800地区ガバナー	酒井 彰
長井ロータリークラブ幹事	大山 友規憲	第6ブロックガバナー補佐	芳賀 康雄
パストガバナー	渡部 保太郎		
例会日	毎週火曜日 12:15~13:15	例会場	タスパークホテル Tel0238-88-1833
事務局	長井商工会議所内 Tel0238-83-2047	会報委員	五十嵐順子・菅 滋徳・塚田弘一・志釜幸喜・奥山智孝

URL: <http://www.nagai-rc.jp>E-mail: [info@nagai-rc.jp](mailto:info@nagai-rc.jp)

四つのテスト 1 真実かどうか 2 みんなに公平か

3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

平成28年 1月19日(火曜日) 第2,645回

【月間テーマ】 職業奉仕

&lt;例会報告 NO.25&gt; 新入会員卓話 村田 剛 会員

## ☆会長挨拶 (渡部会長)



・みなさん、こんにちは。早いもので1月も半ばになりました。昨日、今日とだいぶ雪が降り積もりました。いっきに降ったせいか、除雪もさることながら道路状態が悪く、車のノロノロ運転で移動がだいぶかかってしまうようです。

今月1月25日には英語弁論大会が開催されますので参加してまいります。また、1月14日には青年会議所の賀詞交換会ががぎ苑で開催されました。現在の会員は30名ということで、以前より少し少なくなってきました。

個人的に1月16,17日に横浜に白川土地改良区の水管理の役員の方々といっただけで、中華街にも行ってきましたが長井の方がおいしいと思いました。展望フロアのあるスカイガーデンで日本一速いエレベーターにも乗ってきました。大変ゆっくりした貴重な時間となりました。

## ☆幹事報告

- ・第11回理事会開催し、2月のプログラムと英語弁論大会について審議。
- ・ロータリー財団・補助金管理セミナーの案内。2/20ホテルメトロポリタン山形で開催、対象者は会長エレクト。来年のロータリー財団の補助金を受けるための資格審査も兼ねたセミナーにもなっております。
- ・2016年度の米山奨学生の世話クラブ募集依頼あり。来年3名の奨学生に対しての世話クラブとなります。
- ・来週、クラブ協議会中間報告です。一週で終わりますので委員長欠席の場合は代理報告をお願いします。

## ☆委員会報告

- ロータリー情報委員会 (尾形和夫 会員)
- ・ロータリーの友1月号の見所紹介  
横P8, P12, P26, P28
- プログラム委員会 (大山幹事 代理報告)  
2月のプログラム報告

## &lt;ニコニコBOX&gt;

- ・齋藤 裕之 会員  
村田会員の卓話、楽しみにしています。

## ☆新入会員卓話（村田 剛 会員）



・昨年9月より入会しました株式会社中央会館の村田です。自分は中央会館3代目ですが、中央会館というと渡部家なのになぜ村田なのか、自分のルーツについてお話しします。

・父方は佐々木家で、子供時代に聞いた話ではあるが、平安時代の源義経軍の武将である佐々木高綱が祖先。

・父親は宮城県出身で八人兄弟の7番目。一方、村田家は祖父母に子供がいなかったため母親が養女に入ったが戸籍上は実子となっている。

・父親は野球をやっている、常磐炭鉱の野球部に所属し後楽園球場での社会人野球大会に出場。自分が生まれた年の昭和36年にさよならホームランを打ったという輝かしい栄光をもっていた。

・祖父は常磐炭鉱の保養所の管理人をしていた。その当時、石炭はすばらしいエネルギー源だったため、その保養所はとても豪華な施設であり、いつも行っていたので小さい時は自分の家だと勘違いしていた。

・父親も村田家の婿であるが、自分も婿みたいなものがあるが、なぜ自分が中央会館で村田姓を名乗っているのかというと、端的には渡部家には長男がいる。一方村田家は母が養女。そして父方の佐々木家も8人兄弟であったが次々と事故にあったり、長男は娘だけでそれも嫁にだし、結果して佐々木を守る人がいなくなった。そんな状況を見てみると、家の名前を継ぐということに対して問題意識を持つようになった。

・渡部家の長男は大学院に進み、電通に就職。やりたい事があるということで東京に残った。妻は長女で大学3、4年の頃に卒業後地元に戻って中央会館を継ぐということになった。その当時付き合っていて、自分は長男であったが男3人兄弟であったので家は弟に任せた。その後震災があり、任せた弟が長井に避難してきた。現在、家は震災の工事作業員に貸したりしている。自分の家であるが中には入れないような状況である。多少は被災地の方々の気持ちがわかるような状況にある。

・幼少の頃、祖父母にとってもかわいがられた記憶があり、母は養女で血のルーツはないものの、親孝行するには「村田」の姓を継ぎたいと思い名前にこだわった。

・女房の両親は継いでくれるのであれば名前はいいよという条件で、大学卒業後の昭和62年に山形の長井にやってきた。

・当時中央会館は全盛時代で、初代社長は90歳位であつ

たが絶対権力をもっていた。今回のジャニーズ事務所ではないが、会社で決めたことも鶴の一声で変わるほどすごい力をもっていた。自分が挨拶に行ったとき孫の夫となるのであれば、いずれ財産をやるのであるから渡部姓でないといふとだめだと言われ大喧嘩になった。最終的には長男がいるということで落ち着いたが、結婚当初はなぜ村田なんだといろんな人に言われた。

・自分でつくづく村田で良かったと思った事は、結婚後2~3年後に父親が58歳で他界。自分は長男ということで喪主をしたが、この時は村田で良かったと思った。母親については弟が面倒を見ていたこともあり弟に喪主をさせた。

・村田の血筋の後継者は大分増えたので大丈夫かとは思いますが、本来であれば由緒ある佐々木家を継ぐのだろうが、そちらはだんだん途絶えそうになっていて、村田家は血筋はないものの祖父母に対する副おうの気持ちからなのかと感じている。

・会社の経営に関する考えも、常磐炭鉱の社是である「一山一家」に由来し、社員は家族だという思いがある。自分は今は社長であるが、元々サラリーマンの息子であり社員の気持ちはわかると思っている。

・会社の経営方針は「シーラカンス経営」という哲学をもっている。シーラカンスは大恐竜時代から今まで生きぬいている。自分の会社もずっと細々でいいから残って、地域の方々の懐かしい場所になっていければ良いと思っている。

詳細はDVDをご覧ください。

## ☆次回例会予定

・1月26日 クラブ協議会 活動中間報告

## ☆出席報告

1月19日例会 報告者：手塚典雄 会員

	会員数 (免除)	出席数 (免除)	出席率	MU数	修正 出席 数	修正 出席 率
本日 (1/19)	28 (0)	20 (0)	71.43 %			
前回 (1/12)	30 (2)	24 (2)	80.00 %	1	25 (2)	83.33 %
前々回 (1/5)	休会					